



かながわ湘南西

障福ナビだより

令和 5 年 11 月 30 日 第 128 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

平塚市基幹相談支援センターの開設に向けて

平塚市では基幹相談支援センターを直営で設置予定です。専任職員を配置し、令和6年1月11日の開設を目指しています。また、3つの委託相談支援事業所と連携した運営体制が平塚市ならではの強みと言えます。

基幹相談支援センターの設置については、これまで平塚市障がい者自立支援協議会（本協議会、企画運営部会、計画相談支援分科会）において、オープンな意見交換を丁寧に積み重ねてこられた他、平塚市と3つの委託相談支援事業所がそれぞれの役割分担について活発に協議を行い、平塚市における基幹相談支援センターの機能について検討を進めてきました。今年度第2回平塚市障がい者自立支援協議会（10月31日開催）では、組織や機能の最終案が報告され、市民へのわかり易い周知の方法などについてさまざまな視点から意見交換がなされました。今後、1月の開設直後には、平塚市計画相談支援連絡会を開催し、市内の相談支援専門員への説明が予定されています。平塚市の強みを生かした事業所支援や顔の見える関係作り、研修の在り方や社会資源の開発など今後の活動の展開に注目です。

令和5年度神奈川県相談支援従事者初任者研修

神奈川県では、相談支援の充実・強化のために、今年度は、相談支援事業所開設促進セミナーが圏域毎に開催され、相談支援事業所開設相談サポートデスクも開設されました。また、相談支援事業所での次年度の相談支援専門員の配置を検討する際に、養成研修が終了していることの無いようにとの配慮で、神奈川県相談支援従事者初任者研修は10月からの開催となり、3コース合計189名が受講しています。演習は5日間あり、途中に2度のインターバルが設けられています。受講生はその期間に課題を作成し、地域の基幹相談支援センター等に持参して助言を受けて、次の演習に臨みます。これをインターバル実習と呼んでいます。

湘南西部圏域では、新たに相談支援専門員になる方々が、事業所外の頼れる存在とつながるために、インターバル実習の効果的な実施に資する取り組みを昨年度から始めました。既に本紙でもご紹介している、湘南西部圏域インターバル実習相談先リストの配布がそれで、受講生が迷わず確実に実習受け入れ機関とコンタクトを取れるようにするものです。今年度は、本リストに基幹・委託相談支援事業所以外に所属する主任相談支援専門員の方も掲載されました。また、昨年度のインターバル実習を受け入れた機関（湘南西部圏域相談支援ネットワークのメンバー）による対応の振り返りを基に、今年5月にアセスメント研修会を開催し、今年度の実習受け入れに備えました。今年度のインターバル実習への対応の振り返りは、12月の第2回湘南西部圏域相談支援ネットワーク会議で行う予定です。

にも包括に関連する湘南西部圏域内での主なトピックス

令和4年に精神保健福祉法が改正されました。その目的は、この法律が障害者基本法の基本的な理念にのっとり、精神障害者の権利擁護を図るものであることを明確に（法律の目的に明記）するとともに、地域生活の支援の強化等により精神障害者の希望やニーズに応じた支援体制を整備することにあります。「相談指導等」を「相談及び援助」に改めるなど文言の変更も見られます。これを受け、令和6年4月からは、入院者訪問支援事業、医療機関における虐待防止の措置と虐待を発見した者から都道府県等への通報の義務化、自治体の相談支援の対象の見直し等が予定されています。



このような変化の流れの中で、圏域内では精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、様々な取り組みが継続され、新たなものも始まっています。主なトピックスは以下の通りです。

【平塚保健福祉事務所】

地域移行支援事業で長期入院者が退院できたことの波及効果（同じ病棟の患者や、元気になったご本人を見た支援者・病院関係者へ）も報告されている。訪問看護ステーションの困り感を受け、今年度より精神保健福祉事例相談を開催し、精神科医師と多職種参加によるディスカッションで精神障害の理解、他機関相互理解、ストレングス視点を確認できるなど好評を得ている。

【平塚保健福祉事務所秦野センター】

昨年度に引き続き、第2回精神科医療機関等連絡会（11月28日Web開催）を、秦野市相談支援事業所等連絡会、伊勢原市相談支援部会、圏域ナビと合同開催し、両市グループホーム連絡会を通じてグループホームにも事前に周知した。当日は、両市行政、精神科4病院職員、両市相談支援専門員、グループホーム職員で、グループに分かれて、事例への支援を検討した。

【平塚市・平塚市障がい者自立支援協議会精神分科会】

平塚市との包括協定が結ばれている製薬会社の協力を得て、昨年度には平塚市職員を対象に、行政の窓口等での精神障害のある方への関わり方等に関するニーズ調査を行った。今年度は、調査結果に基づき、平塚市全課の職員や地域包括支援センター等の職員を対象に、精神障害に関する基礎知識や“にも包括”の考え方を学ぶ研修会を行った。

【秦野市】

にも包括 協議の場は、今年度第1回を10月31日に開催した。ピアサポーター、家族会、自治会連合会役員、精神科病院職員、基幹相談支援センター職員等に加え、今年度は、訪問看護、相談支援事業所も参加して、ワールド・カフェ方式で「暮らしやすさ、過ごしやすさ」をテーマに意見交換した。挙がった意見を整理し、それを基に第2回の企画を検討する予定である。

【あとがき】クリスマスが近づいてきましたね。子どもが小さいころは気合をいれて準備していましたが、懐かしい限りです。皆さまが今年も良いクリスマスを過ごされることをお祈りしております。今号は年内最終号となりますので、少し気が早いですが、どうか良いお年をお迎えください。今年1年ありがとうございました。